シエナ外国人大学 2007/2008年度　機関報告

1. 機関概要

所在地:　Università per Stranieri di Siena
Piazza Carlo Rosselli 27-28 53100 Siena Italy
Tel. +39-0577-240111 fax: +39-0577-281030

シエナ外国人大学は、1588年にトスカーナ公フェルディナンド１世がドイツ人学生を対象に開講した「トスカーナ語講座」が前身となっている。現在もその伝統が引き継がれ、外国人を対象としたイタリア語教育とイタリア語教師養成が精力的に行われている。日本語は2004年から開講されており、学士課程の「イタリア語・イタリア文化コース」及び「 言語・文化交流コース」 における自由選択科目として履修できる。2008/2009年度からは、「言語・文化交流コース」 で日本語が第一あるいは第二外国語として履修可能となる。

２.カリキュラムと学生数（2008年8月現在）

日本の言語と文学I（10単位）　学生4名
日本の言語と文学II（10単位）　学生2名

基本的に学部の３年次での選択科目となっており、１、２年次に単位を取得するためには特別な手続きを取らなければならない。そのせいか、レベルIIまで進む学生はかなり少ない。2008/2009年度からは、上記の科目が学士課程のプログラムに組み込まれるほか、レベルIIIが増設される。

３．開講科目と担当教員

日本の言語と文学 I	30時間/年	担当:	マリア・ジョイア・ヴィエンナ
日本の言語と文学 II	30時間/年		（兼任講師・ローマ大学助教授）
日本語I	90時間/年	担当:	小林　玲子
日本語II	90時間/年		（語学講師）

4. 使用教科書

レベルI　『みんなの日本語 I』
レベルII　『みんなの日本語 I』『みんなの日本語 II』

２人の教員が同じ教科書を使用し、協力して授業を進めている。なお、レベルIIの前半で日本語能力試験4級受験を推奨しており、授業中に試験対策も行っている。レベルIIで『みんなの日本語 II』の全課を終了し、３級受験への準備ができるようにしている。

5. その他の活動

2006年に早稲田大学と交流協定が締結され、2007年、2008年の8月には早稲田大学の学生が本大学のイタリア語集中コースに参加した。今後さらに学生・教員の交流が深まっていくと予想される。

文責:　小林玲子